

ペストコントロール協会のプロによる対応と駆除

- 営巣個所を考え、その家の方やご近所に被害が及ばないように説明のうえ、立ち入り禁止の掲示などを行います。
- 営巣場所により、壁や天井を切断する場合は事前に了解を取り、追加経費が発生する場合も事前に説明いたします。
- 作業者の安全を確保するため、作業には特殊防護服を着用し、通常2人で行います。基本的に駆除は昼間に行いますが、周辺への影響等を考え、夜間ハチが活動を停止する頃に作業することもあります(写真3)。

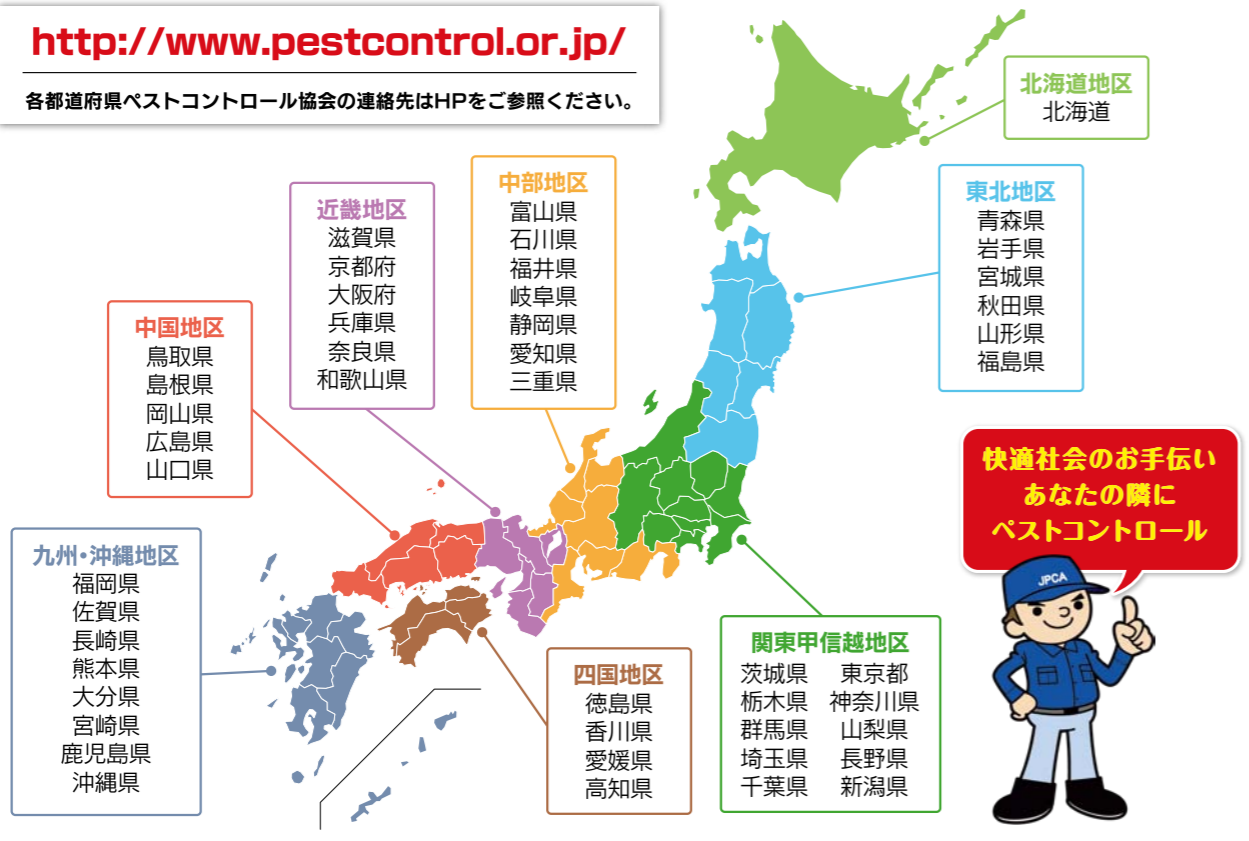


写真3: アシナガバチの駆除の様子

日本全国にペストコントロール協会があります！

<http://www.pestcontrol.or.jp/>

各都道府県ペストコントロール協会の連絡先はHPをご参照ください。



快適社会のお手伝い
あなたの隣に
ペストコントロール



ご相談は...お近くのペストコントロール協会へ



公益社団法人 日本ペストコントロール協会

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3-4

サンクス神田駅前ビル3F

TEL: 03-5207-6321 FAX: 03-5207-6323

URL: <http://www.pestcontrol.or.jp/>

本リーフレットの一部または全部を無断で複写・複製することを禁じます



この印刷物は環境に配慮し、森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用しています。

毒針で人を襲う 恐怖のスズメバチ!!

— 対策は当協会のプロに —

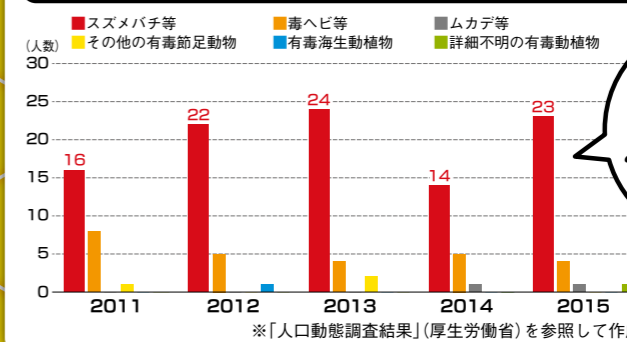


全国のペストコントロール協会に寄せられるハチの問い合わせが年々増加しています。夏から秋にかけてマスコミでもしばしば取り上げられ、関心は益々高まっています。日本には約4500種のハチがいますが、すべてのハチが人を刺すわけではありません。攻撃性が強く、被害が発生するのはごくわずかで主にスズメバチ類、アシナガバチ類などの仲間です。

駆除には、ハチの種類・習性を十分に理解する必要があります。スズメバチ等の駆除はかなりの危険を伴う作業なのです。是非、専門家にお任せください。



日本における有毒動物による死因 (2011~2015年)



日本でも
毎年、ハチにより
約20人が
“死亡”しています。



公益社団法人 日本ペストコントロール協会

人を刺すハチ!

人を刺すハチ類も、その種類により巣を作る場所や形状が異なります。山道の木の根元や土中に巣を作るオオスズメバチ、建物の軒下や屋根裏・壁内などに巣を作るキイロスズメバチ、建物周りの生垣・植木の中に巣を作るコガタスズメバチ、釣鐘型の巣を作るアシナガバチ類など色々です。種類によって人への攻撃性にも違いがあります。

主に人を襲うハチの仲間です。種類により巣を作る場所や形状が異なります。



オオスズメバチ

攻撃性 ★★★

山道の木の根元や土中など閉鎖空間
形状:閉鎖空間に作るためその空間に合わせた形状



キイロスズメバチ

攻撃性 ★★★

建物の軒下や屋根裏・壁内など
形状:球形



コガタスズメバチ

攻撃性 ★★

建物周りの生垣・植木の中など
形状:球形(初期の巣はとっくり型)



セグロアシナガバチ

攻撃性 ★

樹枝や葉の裏、軒下など
形状:釣鐘型、円盤型



ハチ刺症の事例

- 2016年9月、岐阜県において開催されたマラソン大会中にランナー115人がキイロスズメバチに刺された。
- 2016年9月、東京都において、緑地で課外活動中の小学生と教師10人がオオスズメバチに刺された。
- 2015年10月、岐阜県において、空き地の草むしりをしていた90代の女性がオオスズメバチに刺され、搬送先の病院で治療を受けていたが数日後に容態が急変し亡くなった。
- 2015年9月、北海道において、農作業をしていた30代の男性がスズメバチに刺され、搬送先の病院で亡くなった。
- 2014年、千葉県の山林で、草刈り作業中の男性5人がハチに刺され病院に搬送されたが、50代の男性1人が死亡した。

(参考: ホームページ「都市のスズメバチ」URL: <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~vespa/index.htm> 管理者: 山内博美氏)

スズメバチに刺されないための注意

- 巣が最も大きくなる夏から秋頃が最も危険になります。
- 日頃、行動する範囲で巣を見つけたら近づかないこと。
- 巣に近づくと警告のため1~2匹が顔の前に飛来します。このような状況は、これ以上近づくと危険という警告です。すぐに巣から離れ、手で払わないこと。
- 黒いものに反応して襲います。白系の服の着用や白い帽子を被るなどすること。
- においの強い整髪料・香水に誘引され、興奮するため、攻撃を受けやすくなります。



万一、ハチに刺されたら...

- 刺された場所からすぐに離れること(10m以上)。スズメバチは、警報フェロモンを出し仲間を呼び次々襲ってくる可能性があります。
- 刺されると直後に痛くなり、次第に腫れが大きくなります(写真1)。
- 刺された箇所を指で強くつまみ、できるだけ毒を絞り出します(決して口では吸わないこと)。便利な毒吸引器も市販されています(写真2)。または、毒は水に溶けるので流水でよく流します。その後、安静にします。
- 一度ハチの刺咬を受けた人は、体内に抗体ができ、再度刺咬されるとアレルギー反応で命に係わる場合があります。
- 下記のようなアナフィラキシー症状が出た場合は、すぐに医師の診察を受けましょう。アナフィラキシーショックによって短時間で心肺機能が停止し、死に至ることもあります。



写真1:ハチに刺され、腫れた手



写真2:毒吸引器の例



ハチ毒アレルギーによるアナフィラキシーショックが起こることもある!!

アナフィラキシーの主な症状

- 全身のじんましん ● 吐き気、嘔吐 ● 呼吸困難
- 全身倦怠感 ● 意識障害 ● 発汗、尿・便の失禁 ● 血圧低下

表紙写真(毒針): 伊藤真弓撮影
写真1: 大滝倫子医師提供